



Lightwinder Commander V3 Ver.1.4.1

リリース・ノート

オタリテック株式会社

2023年12月11日

Lightwinder Commander V3 (以下 LwcV3) Ver.1.4.1 をリリースいたしました。Ver.1.4.0 からの主な変更内容は下記の通りです。不具合については、特に明記がなければ Ver.1.4.0 での発生内容を記しています。また、不具合を生じる LWB 本体のファームウェアはバージョン = Ver.3.1.0* であることを想定しています。

Ver.3.1.0*) LWB-24A/72A のバージョンは LWB-24/72 のバージョンから 2.0.0 を引いたバージョンとなります (LWB-24/72 で Ver.3.1.0 の場合、LWB-24A/72A では Ver.1.1.0)。本書内のバージョン表記は全て LWB-24/72 のものとなりますのでご注意ください。

【 語句について 】

- ・アプリケーション・エラー: 「アプリケーションのコンポーネントで、ハンドルされていない例外が発生し...」で始まるメッセージが記されたダイアログボックスが表示されるエラー
- ・レガシー・モジュール: LWB-16/64 でも使用可能な I/O モジュール(“レガシーMADI モジュール”, “レガシーMic チャンネル”のようにも記載します)
- ・2472 モジュール: LWB-24(A)/72(A)専用の I/O モジュール(“2472 Mic モジュール”のようにも記載します)
- ・FS: サンプリング周波数
- ・ソース・チャンネル: ルーティング設定されている(と仮定した場合の)入力側のチャンネル

1. 修正された不具合

1-1 「出力表示からマイク制御をする」機能でマイク入力のゲインを設定するときに発生する以下の不具合

- ・出力チャンネルがフィックスド MADI モジュールで FS が 96kHz または 192kHz のとき、ゲイン値を数値で変更しようするとアプリケーション・エラーが発生する。
- ・出力チャンネルがフィックスド MADI またはレガシーMADI モジュールで FS が 48kHz のとき、ゲイン値を設定範囲外の値に変更しようするとアプリケーション・エラーが発生する。
- ・出力チャンネルがフィックスド MADI またはエンベデッド・オーディオ・モジュールで、制御されるマイク・モジュールが 2472 モジュールのとき、かつ、パッドがオンしていてパッド値を加えた表示にしている([Pad Added] オン)場合、ゲイン値が 5dB 小さく表示される。

1-2 マイク・パラメーター等を変更した後、そのチャンネルのあるモジュールのパラメーターがリロードされ操作を続けることができない場合がある

備考: LwcV3 Ver.1.4.0 / LWB-2472 ファームウェア Ver.3.1.0 にて追加した LWB 本体にて変更したパラメーター値を自動的に LwcV3 に反映する機能に関する不具合で、MADI モジュールの出力チャンネル表示から Mic パラメーターを設定する際に顕著に生じます。当該不具合を解消するには LWB-2472 ファームウェアも Ver.3.1.1 (以降)にバージョンアップする必要があります。関連項目として 2-1 を参照してください。

2. 改良または追加された機能

2-1 プリファレンス・メニューに「パラメーター自動更新」を追加

備考: LWB 本体にて変更したパラメーター値を自動的に LwcV3 に反映する機能は、「パラメーター自動更新」にチェックを入れているときのみに有効となります。LwcV3 使用時は基本的に LWB 本体での操作は行わない、という場合はこのチェックを外すことをお勧めします。

以上